

## 第 2 回 全 体 会 議 事 録

実施日時	平成 21 年 7 月 9 日 (木) 14:00 ~ 16:30
場 所	福井県国際交流会館 第1会議室
出席者 (敬称略)	(会長) 菊沢 正裕 (副会長) 中野 佐知子
	(委員) 有賀 祥夫、井上 義一、梅田 徳美、桶谷 治寛、勝山 智充、 久保田 千鶴子、河野 正雄、酒井 絹子、島田 行雄、清水 武正、堤端 充、 中川 敦士、野村 昭一、宮腰 忠寛、山本 靖夫、吉川 守秋 (計18名)
	(事務局) 近藤課長、宮越、辻
議 題	<p>1 報告事項</p> <p>(1) プロジェクト活動報告</p> <p>2 審議・協議・意見交換</p> <p>(1) 全体会の運営について</p> <p>(2) 全体事業について</p> <p>①福井市環境展の企画</p> <p>②家庭版環境ISOの推進</p> <p>(3) プロジェクトの設置及び廃止</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 福井市環境基本計画の改定について</p>
進行及び 要 旨	<p><b>報告</b></p> <p>(1) プロジェクト活動報告について</p> <p>&lt;行事案内&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地球温暖化と森林」 講師：緑の相談員 松田正宏 日時：8/2(日) 14:00~16:00 会場：福井市商工会議所 国際ホール</li> <li>・「結局どうしたらいいの？温暖化対策！！」 講師：藤野純一 日時：7/20(月) 13:00~15:00 会場：アオッサ607号室</li> </ul> <p><b>審議・協議</b></p> <p>(1) 全体会の運営について</p> <p>&lt;学校版ISOの訪問校の決定&gt;</p> <p>○事務局より、目的と概要説明</p> <p>(目的)「環境にやさしい学校」の認定更新の確認として訪問する 今年度は、H18年度(制度の初年度)に認定した学校の更新確認にあたる。</p> <p>(概要)訪問者：市職員とFEPS委員(希望者)の数名 時 期：1月中旬頃 訪問数：5~6校(参加18校の中から)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今、学校は忙しい(英語教育など始まったため)ので、以前と同様の取組(書類の整理等)がされているのか心配である。そこで、訪問が予想される学校には、予め通告しておかないと学校側が戸惑うと思う。</li> <li>→現在の制度は、学校側が継続して取り組みやすいように、書類の作成や提出等は簡略化している。また、学校訪問があることについては、最初から伝えてある。</li> <li>・この制度の有効な点はどこか？</li> <li>→学校側からの意見では、制度参加にあたり全校で省エネや節水を意識的に呼びかけたところ、子供たちの日常行動において省エネや節水が当然のこととなったそう。</li> <li>→制度参加により先生の意識が高まり、それが子供たちに伝わるのだと思う。</li> <li>⇒当初の制度から、変更があったそうだが、FEPSは関わっているのか。</li> <li>→制度変更にあたっては、3年間の実績と学校側からの意見をもとに、昨年度まで</li> </ul>

( ・ 、 ⇒ : 委員発言 / ○、→ : 事務局発言 )

あった環境ISOプロジェクトにて検討した。  
⇒この制度は良い取組だと思うので、効果の検証が必要だと思う。ISOの目的は、「継続と発展」なので、単に継続していくのではなく、効果の検証を経て発展していく必要があると思う。

→学校版環境ISOは、環境教育の一環として各学校が計画を立て取組むもので、単純に効果の検証が出来るものではなく、それが必要なら制度及び体制の見直しが必要である。

※審議内容(2)と(3)の順番変更

### (3) プロジェクトの設置及び改廃

・当日資料では、PJはFEPSの発展のために存在すると読める。しかし、以前の案では、PJ活動による「住民の環境意識の高揚」等を目的としている。FEPS設置要綱でもPJの設置目的は曖昧なので、設置目的を明確にして記載する必要があると思う。なぜなら、PJ活動のあり方がFEPS当初とは変質しているように思うので、今一度見直す時期だと思う。FEPSの目的は、自ら活動したり団体を組織することではなく、他の団体同士を結びつけたり、活動を後押ししていくことだと思う。

・FEPS委員が提案する場合は、期限を設ける必要があるのか?随時ではダメなのか?

→内容や計画の検討を経てPJメンバー募集等をし、次年度のFEPS計画に織り込むには、10月までに提案されないと間に合わないと考えている。

・一般からのPJ提案を2年に1回にしているのは、何故か?

→下記理由から、一般公募はFEPS委員の任期2年目に行なうことを想定している。

①任期2年目であれば、新規委員もFEPSの活動の方向性に意見を述べやすいのでは。

②FEPS委員の改選時に併せて、PJ提案者が新規に委員となれる。

③PJ設置当初は、何かとサポートが必要なもので、2年ごとぐらいでないで大変。

→基本的に、PJ提案者が新設PJのリーダーとなり、核として活動することを想定している。提案者が、新設PJに対する想いや考えが一番強いと思うので、その人が加わらなければ活動は軌道に乗らないだろう。

・活動費の条文の中に、「参加費を徴収し、事業費に充てることができる」とあるが、事業費の何%の参加費として徴収するという規程はないのか?

⇒各PJは予算の範囲内で工夫しながら事業をしており、参加費の徴収は必要に応じて行なっている。しかし、現在までに特に問題ないので規程は存在しない。逆に、そのようなノウハウをお持ちであれば教えてほしい。

・当日資料は、用語の使用が曖昧な点や、文章が不自然な点があるので、精査すべきだと思う。(例)「FEPSの全体会」/「FEPS全体会」/「全体会」

### (2) 全体事業について

<福井市環境展>

○当日資料は、第1回企画会での議論をもとに作成。

企画会メンバー：資料を確認し、次回の会議までに意見等を報告してください。

参加していない委員：疑問点や気付いた点があれば、遠慮なく指摘してください。

<家庭版環境ISOの推進>

・現在の制度では、面倒に感じる人が多いので、簡素化してはどうか?

・FEPSが活動する上でのCO2排出量を算出しては?

### その他

#### (1) 福井市環境基本計画の改定について

・FEPSが中心となり基本計画の骨子案を作成することは、我々の希望するところである。皆さん、できるだけ参加して、良いものを作成しましょう。

・必要があれば、分科会をつくり、ある程度テーマ別に内容を作成してもよいのでは。